



日刊 千葉労働運動

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番
(公) 043 (222) 7207 番

92.10.9 No. 3671

本隊出兵阻止

10・13 小牧で全動へ



二波の 小牧闘争 うちぬく

自衛隊のカンボジア出兵、アジア侵略の開始という、とてつもない歴史の大転換点に立って、中学生の七五パーセントが派兵に反対しているように、多くの人民・大衆は、不安と怒りの中にたたさされている。

われわれは、こうした情勢をしっかりと見据え、再び侵略の銃を

大会決定方針にきこづまき 10月連続闘争やりきる

とらないという立場から、九・二三、四、一〇・一出兵阻止の小牧現地闘争に連続して決起し、基地への怒りのデモ、自衛隊員と家族への訴えをやりぬいてきた。この二波の闘いを引き継ぎ、三本隊出兵阻止闘争に断固として結集しよう。

全国に広がる 闘いの炎

政府の狙いは、派兵の既成事実の積みかさねによる人民・大衆の“慣れ”“あきらめ”である。

このなれ、あきらめこそ最も恐るべきことだからである。

われわれは、こうした既成事実を許さず繰り返し基地への弾劾を闘い、その中から反対の輪を大きく形成していかなければならない。敵に休む暇をあたえず反撃へ闘いの炎は全国に広がっている。

- 一九日、朝霞基地抗議・申し入れ
- 二三日、小牧基地闘争
- ”、海田(広島)、高田(新)
- 二四日、小牧基地闘争
- ”、沖縄では三千人の抗議集会
- 二五日、神戸

二七日、善通寺(香川) ”、横須賀
その他、防衛庁をはじめ、全国各地で自衛隊にむけてのたたかいが反戦共同行動委員会や交流センターの仲間によってたたかわれている。

アジア人民の 糾弾にこたえよ

フィリピン、カンボジアなどアジア全域で「日本の軍隊は今すぐ帰れ」と激しいデモがたたきつけられている。

とくに、植民地総督府と化したUNTACへの怒りは激しい。

日本が行った侵略の責任を問う戦後補償を求めるたたかいかも日増しに激化している。

われわれは、PKO派兵に反対

するアジアの民衆に何としても応えなければならない。

自衛隊員か らも 派兵反対の声

マスコミでも報道されているように、自衛隊員のかかりの数が出兵を拒否している。

悩みぬき、勇気をふるって派兵反対に立ち上がっている自衛官を守り、更に“拒否者”をおしひろげよう。

その為にも、労働者・人民が全力で奮闘しなければならない。大会決定方針にもとずき十月連続闘争を貫徹しよう。

11日・三里塚 / 東峰十宮路

13日・小牧 / 如意申公園

21日・日比谷野音 / (18.)

★勤務者外全員!